

第 14 回アジア地域ファンド・パスポート合同委員会 2023 年 11 月 30 日、12 月 1 日

アジア地域ファンド・パスポート(以下「パスポート」)合同委員会(以下、JC)は、2023 年 11 月 30 日から 12 月 1 日の 2 日間にかけて、ハイブリッド形式(対面及びオンライン)で第 14 回会合を開催した。この会合はオーストラリア財務省及びオーストラリア証券投資委員会が主催し、オーストラリア、ニュージーランド(副議長)、日本、韓国及びタイの代表者が参加した。JC は、シンガポール、台湾、香港およびフィリピンの代表者がオブザーバーとしてオンラインにて参加することを歓迎した。

パスポートの進捗

各 JC メンバーは、それぞれの法域におけるパスポートの進捗状況を共有した。現時点では、ニュージーランドを拠点とする規制 CIS(Collective Investment Scheme)が唯一パスポートファンドとして登録されている。

MoC (Memorandum of Cooperation、協力覚書)の修正

JC は、協力覚書(MoC)のいくつかの軽微かつ技術的な修正を合意しており、各メンバー管轄区域での発効に向けた準備を実施している。これらの修正の発効日は、現在、2024 年 6 月 30 日である。

パスポート・レビュー

JC はパスポート制度のレビューに関する議論を継続している。その一環として、JC は、レビューを通じて特定された課題に焦点を当て、本制度へより多くの法域が参加するよう奨励するために、取ることができる可能性のある行動の検討を開始した。JC はまもなくレビュー報告書を完成させ、2024 年初めに報告書を公表することを目指している。

規制の状況

各 JC メンバーは、ファンドマネジメントに係る国内規制の枠組みの進展に関して、最新情報を共有した。

インダストリーデー

JC は、2023 年 12 月 1 日にハイブリッド形式でインダストリーデーを主催した。このセッションには、アジア太平洋地域の金融規制当局、業界団体、ファンド販売業者、運営者を含む 50 人以上の市場参加者が参加した。

インダストリーデーの一環として、JC メンバーと市場参加者は、各メンバーの管轄区域におけるファンドマネジメント業界の様々な側面に関する情報及び傾向と機会が共有された。

次回会議

次回の JC 会合は、2024 年上半期にオンラインにて開催される予定。JC は、議長職をニュージーランドに、副議長職をタイに引き継ぐことで合意した。

背景

オーストラリア、日本、ニュージーランド、韓国、タイが 2016 年 6 月に MoC に参加し、これに基づき、パスポートの効果的な実施と運用を監督するために JC が設立された。

APEC 財務大臣会合を経て設立されたパスポートは、リテール投資家に対し、投資ファンドのクロスボーダーの販売を可能にし、投資家保護のための効果的な法規制を維持しつつ、より多くのファンドの選択肢を与えることで、投資家に対してより多くの利益をもたらすことを意図している。また、パスポートは、地域の金融市場及びファンド業界の能力、専門性そして国際競争力を強化することも目的としている。